

妊娠中に気をつけたい症状



切迫流産・切迫早産について

切迫流産：妊娠22週未満で、流産しかかっている状態のことをいいます

<症状>

- ・ **出血** …赤色～褐色様で、どんな少量でも異常です。
- ・ **子宮収縮** …下腹部の痛み(生理痛様など)や張った(お腹が硬くなる)感じ

切迫早産：妊娠22週以降37週未満で、早産しかかっている状態のことをいいます。安静と治療により妊娠継続が可能な状態ですが、生まれた週数が早いほど赤ちゃんは未熟ですので、注意をしましょう。

<症状>

- ・ **出血** …赤色～褐色様でおりにものに混じったり、破水と同時にみられることがあります。
★健診の内診後に出血することがありますが、少量で続かなければ様子を見ましょう。
- ・ **子宮収縮** …お腹の張り、痛み、重たい感じ。妊娠後期になると、多少お腹が張ることがありますが、横になったり安静にしたりして、すぐに治まるようならば心配ありません。1時間に2～3回続いたり、安静にしても治まらなければ異常と判断します。
- ・ **破水** …チョロチョロと温かいものが流れる感じや、下着がびしょりになるくらい流れることもあります。

上記の症状があれば、病院に連絡し、医師の診察を受けましょう。



切迫流産・早産と言われたら…

まずは安静の度合いを、医師に確認しましょう。

- ・ **家事** 30分以上は立ち続けられない。買い物はできれば家族や近所の人に頼む。
- ・ **住居** 階段の昇降は極力避け、一戸建ての方は生活の場を下に移す。
- ・ **入浴** 症状がある時は中止し、なくても短時間ですませる。
- ・ **動作** 子宮収縮があれば横になり休む。
乳房のマッサージは36週に入ってから行う。
上の子がいる方は、抱っこは無理せず、座って膝の上で抱くなど工夫する。
振動のあるものはなるべく控える。
- ・ **排泄** 便秘や下痢にならないようにする。必要時医師に薬を処方してもらう。
- ・ **性生活** 張り止めを内服していたり、症状があれば禁止。そうでなければ、避妊具を用いて負担のかからない体位で行う。

